

こどもの病気対策法^⑩

－夜間のこどもの夜泣き－

大分大学客員教授 是 松 聖 悟

今年度、子どものいるご家庭に配布してきた、夜間のこどもの病気対策フローチャートの改訂をしています。今回は「夜間のこどもの夜泣き」です。

子どもの夜泣きには保護者であれば誰しもが悩まされたことがあるかと思いますが、

熱、咳、嘔吐、下痢、腹痛、頭痛などを伴う場合は、それぞれの症状のフローチャートに進んでください。他には何もなさそう、しかし泣き止まない場合は、添い寝や抱っこ

してあげる、ミルクや母乳を与える、おむつが濡れていないか確認する、衣服に針など痛みのもととなるものがないか確認するなどを行ってください。服を着替えさせるだけで泣き止むこともあります。

便がでていない場合は、綿棒で肛門刺激をするか、本人の年齢等に応じた浣腸液があれば使用するのもひとつの方法です。それでも泣きやまない

場合は、起こして遊ばせるとかドライブなど気分転換させる方法もあります。多くの子どもはこれで泣き止むと思われず。

泣き止めば、朝まで観察可能です。泣き止まない場合は、こども救急電話相談＃8000に問い合わせてください。

ただし、このフローチャートはあくまで目安です。心配事があれば、こども電話相談＃8000に問い合わせてください。



夜間のこどもの夜泣き フローチャート

